



ひのみや瓦版

4月号



子ども達 集まれー!!

3月18日(土)25日(土)参加者 高校生以下11名 十 大人(見守り) やっと少しずつコロナ生活から解放されるようになり、何か新しい事、楽しい事ができないかと思っていたところに『卓球などの身体を動かすことがしたい』と要望があり、協力隊の水口隊員と山口隊員に伝えたとこ、急遽、子ども達自由参加で集まることになりました。正直、子ども達が何をやりたいかは検討もつかないので、卓球、バドミントン、カローリング、バスケットボールを準備して行いました。

子ども同士でも初対面の人が数人いましたが、集まった人達で何をするかを決めて遊びました。中には、自分が何かをしたくても友達を誘う勇気が出なくて悩んでいる子もいましたが「自分が決めて誘ってみたら」と伝えると： 勇気を出して友達を誘って来る姿も見受けられ、ひとつ成長をした一面も見られました。今は、自立性(自律性)、主体性が問題視されている中、気軽にこういった事が一つ一つできればいいなと思えました。最後はきちんと自分達で片付け、掃除をして遊びを終えました。

令和5年4月20日

発行所 比之宮公民館

〒696-0711

邑智郡美郷町宮内 562-5

電話 0855-82-3474

Fax 0855-82-3800

メールアドレス

himenomiya@outlook.com

比之宮の人口 3月現在

・男115人 ・女135人



ひめのみや楽級&避難訓練

参加された方の感想

3月15日当日は館長さんから避難訓練があるとの予告がありました。突然の非常ベルが鳴り、指示されるとおり外に出ましたが、私と同年の方二人は(さっさ)と歩けず、一番後に外に出ました。これが本当の災害・火災ならどうだろうか、ふと20年位前に感じたことを思いペンをとりました。私は定年(55歳)後70歳まで福祉施設で働かせてもらいました。その間、年に何回もの訓練がありました。職員には予告していても入居者には知らせてありません。非常ベルが鳴ると、受け持つ部屋の人を誘導するのですが、とても真剣に行動されていますが歩行困難な方は必死に手につかまって下さって(わしは早うによう歩かんけ、あんた若いんだけ先に逃げんさい)と言われて、とてもいとおしくて、涙が出た経験があります。本日の訓練が本当の発生でしたら、私は這ってでも逃げるでしょうよ、かしい高齢者になりたいですが、とかく自我がでまして…。

大畠 千代枝

比之宮協力隊通信

今年には桜の開花が早く花吹雪が舞う季節となりました。瓦版には協力隊の水口さんが仕事関係の事ばかり載せていますので、たまには味変で私の小言でも読んで頂けたらと思います。私は今年の3月から児童クラブのバイトを週1で始めました。子どもの人数は10〜15人ほどです。職員の方たちからは新人の私はいつも優しく教育してもらいます。もちろん毎週水曜日のひめのみや楽級へ参加してくれる方たちも気さくな優しい人たちがばかりで大変楽しくしています。児童クラブの子どもたちは男子の比率が多く、体育館で野球やサッカーをしてクラブを過ごします。

私も遊びに混ざるのですが、体力の衰えを感じます。勤務初日は、私vs子供全員でサッカーをして洗礼を受けました(笑)子供たちとの遊びは運動不足の解消になり、体を動かす事は楽しいと改めて体感できました。

比之宮にお住まいの皆様は畑仕事、外仕事で体を動かすたのしさは既にご存知かと思われます。これからは米の育苗や田植えの準備で忙しくなる方が多いと思いますが、どうかお身体には気をつけてお過ごしください。

比之宮地域おこし協力隊 山口

